

KITライブラリー通信

Jan.
2019

No.2

今回は英語の学習方法、特に「多読」と呼ばれる学習方法に焦点を当てていきます。「多読」とは読んで字のごとく、とにかくたくさん英書を読む英語の勉強方法で、かの夏目漱石もオススメする勉強方法です。図書館では多読用の図書を多数そろえていますので、是非利用してみてください。ちなみに夏目漱石は始めは英語が苦手だったそうですが、「多読」により英語教師にまでなりました。そんなちょっとした豆知識もあるKITライブラリー通信、是非最後まで読んでみてください。

- 多読**
三ヶ条
- 一 辞書は引かない
 - 二 わからない所は飛ばして前へ進む
 - 三 つまらなくなったらやめる

多読は夏目漱石だけでなく、政治学者である丸山真男も推しており、また、有名進学校の灘中・高校や学習塾SEGでも英語の授業で取り入れられている実績のある勉強方法です。そんな多読ですが、上記の3点を守れば良いので取り組む際のハードルがとても低いのが特徴です。

それでは、具体的な目標設定とやり方を紹介して行きます。

STEP1 簡単な英書をとにかくたくさん読む

最初からレベルを高く設定してしまうとすぐ挫折してしまいますので、まずは導入として「簡単すぎるかな?」と思うくらいのレベルの英書を読みましょう。

多読用の図書には表紙にレベルと単語数が記載されたラベルが付いています。

英語が得意!という人でもレベル1以下から始めてみましょう。

STEP2 辞書を引かずに楽しく読む

辞書を全く引いちゃダメ!というわけではありませんが、多くの英文に触れることで英文に慣れるのが多読の目的です。

全部意味を理解するのは精読になってしまいます。80%程度理解できればそれでいいのです。

King ArthurやAlice in Wonderlandなどは読みやすい上に内容も面白いのでオススメです。

STEP3 リスニングの学習にも

リーディングは慣れてきたからリスニングもそろそろ学習したい!という人もいます。多読図書の中にはCDが付いているものが多数あります。音源に対してワテンポずらして聞こえたとおりに発音してみる「シャドウイング」という勉強方法があります。同じ本を何度読むのもOKな多読。

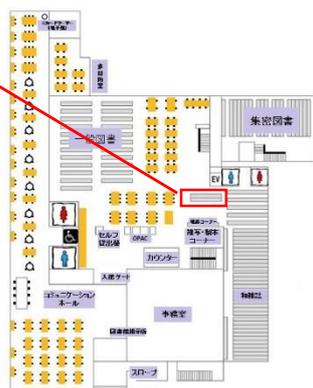
好きな本を覚えるくらい多読・シャドウイングしてみてもいいかもしれませんね。



多読図書の配置場所



雑誌コーナー向かい



その他の情報

多読図書以外にも語学学習用の図書として、漫画や映画の英語版なども図書館にはあります。

好きなエンタメの英語版から学習を始めたりのものもありますよ。

また、読んだ本の情報を記入する「多読手帳」なるものもあつたりしますので気になる人は調べてみてください。



～図書館からのお知らせ～

ここでは新着情報を紹介していきます。
今回は図書館で利用できるサービスなどを紹介していきます。

ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、発表者が読んで面白かった本を持って集まり、順番に一人5分間で本を紹介していき、最後に「どの本が一番読みたくなかったか？」を基準とした投票を参加者全員で行うことで『チャンプ本』を決める読書会のことです。

毎年12月ごろに本戦が行なわれ、近年では地区予選を含めると1000名以上も参加する大きなイベントです。本学からはバイオ環境化学科4年 高橋 穂百さんが本戦に出場しました。

地区予選は毎年10月ごろ行なっています。読書が好きな方は是非参加してみてください。プレゼンの良い練習にもなるかもしれませんね。



図書館で貸出可能なアイテム

今回はあまり知られていない、図書館で貸出可能なアイテムを紹介していきます。

図書館ではパソコン、iPad、大画面モニター、AV変換アダプターなどの貸出を行なっています。

これらを利用して、パソコンやiPhone・iPadを大画面のモニターに映しだし、学習やミーティング、プレゼンの練習など幅広く活用することができます。

是非一度利用してみてください。きっと皆さんの学習の幅が広がると思います。



図書のリクエスト

図書館ではみなさんからの図書のリクエストを随時受け付けています。

読みたいけど金額が高くて手が出せない図書や今話題の気になっている図書、是非多くの人に読んでもらいたいオススメの図書などがありましたら、遠慮なくリクエストしてください。

リクエスト方法の詳細については図書館のカウンターにいる職員に聞いてください。

また、必ずしもリクエストが通り、購入できるとは限りませんのでご了承ください。



その他情報

図書館ではFacebookを開設しています。Facebookでは企画展示の情報だけでなく、図書館職員のなにげないつぶやきもあつたりするので気軽に覗いてみてください。

勉強の息抜きに最適ですよ。

そんな図書館Facebookに興味を持ってくれた人はフォローを、投稿が面白かったり、役に立ったら「いいね！」をお願いします。

図書館のFacebookは右のQRコードから見るができます。

たくさんのフォローと「いいね！」をおまちしております。



北見工業大学
Facebook